

なかがわ

広報

2019. 10



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.169

平成30年度決算報告	2
国民健康保険からのお知らせ	7
町立認定こども園令和2年度新規入園児募集	8
なかがわ元気フェスタ2019を開催します	11



夢まつり 盆踊りコンテスト

秋季特別展 「ポール・ジャクレー展」 ～浮世絵に魅せられたフランス人画家～



第169回

若い女性が物憂げな表情で細長い煙管を口にしています。大きな黒い帽子に小さな黒い靴、漆黒の花模様が浮き出た黒

い服と全身黒づくめの中、幾重にも重なって広がる白い襟がまるで蓮の花びらのようです。

この版画を制作したのは、浮世絵の流れを汲む「新版画」で活躍したフランス人の画家、ポール・ジャクレー(1896-1960)です。

ジャクレーはミクロネシアの島々や朝鮮、日本で取材した作品を制作していますが、晩年には新しい画材を求めて世界旅行に出かけました。半年間に及ぶ旅行の最初に立ち寄ったのが香港です。ジャクレーは香港の赤柱で、この女性をスケッチしました。

ジャクレーは、友人に宛てた手紙でこの作品についてこう書いています。「婚約した女性がかぶる帽子を頭上にのせたその女性は、自宅前で何をすることもなく座っていた。彼女の表情には喜びと不安が入り混じり、その姿はまるで汚泥から生える美しい蓮の花のようであった。」

渋みのある銀色を背景に、黒の装いが美しい作品ですが、水彩で描かれた原画では、女性が身につけている帽子や服はオレンジ色でした。ジャクレーは原画から版画を制作するときには全身黒の服装に作り変えたのです。それにより、白い襟の華やかさが強調され、「婚約」というおめでたさを感じられます。同時に、結婚を控えた女性の複雑な心情といったものまでもが伝わってくるようです。

展覧会では、この版画とともにスケッチや原画を並べて展示します。この美しい作品がどのような課程を経て制作されたのか、また、ジャクレーがこの作品でどのようなことを表現したかったのかなど、思いを馳せながらご覧ください。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子



ポール・ジャクレー「黒い蓮華、中国」(個人蔵)

【会期】

前期 10月14日(月祝)まで

後期 10月19日(土)～11月24日(日)

【ミュージアムトーク】

10月19日(土) 午後1時30分～ 当館学芸員

【入館料】 大人 700円(630円)

高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金

※中学生以下は無料

※障害者手帳等をお持ちの方とその付き添い1名は半額

【特別協力】

稲垣ジャクレーテレス、羅龍煥、羅智靖、富田聖三、
横浜美術館(敬称略)

平成30年度 那珂川町観光協会写真コンテスト受賞作品



優秀賞「黄金の棚田」

撮影者：田代 宏明さん(塩谷町) 撮影地：小砂

昴21弦楽四重奏団公演のお知らせ

那珂川町も後援している、那珂川町ふるさと大使「玉川克」氏が所属する楽団の公演が開かれます。この機会に是非ご鑑賞ください。

日時 11月23日(土) 午後3時開演
(午後2時30分開場)

場所 那須野が原ハーモニーホール大ホール

料金 全席指定

一般2,000円、学生1,000円(大学生以下)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド

那須野が原ハーモニーホール ☎0287-24-0880

受付時間 午前9時～午後5時

